

都区市自治体横断で公衆衛生医師に迅速・正確に 情報共有する基盤を構築したい！

課題



東京都内の都・特別区・政令市等に在籍する100名を超える公衆衛生医師および各自治体の人事担当者への情報共有において、自治体をまたぐ人事異動に伴う連絡先の再収集や、セキュリティ環境の違いによる一斉連絡・大容量データ共有の制約があり、業務負担が大きい状況となっていることから、効率的かつ確実な情報共有体制を実現したい。

- 連絡先情報を効率的かつ簡便に収集・更新できる仕組みの構築
- 通知や大容量データ、スケジュール等を一元的に共有できる環境の整備

背景

- 公衆衛生医師が都・特別区・政令市など複数の異なる自治体に所属しているため、統一的な情報共有基盤が存在しない。
- 必要な情報は、メールにより、各医師および各自治体の人事担当者へ随時連絡している（内容に応じて一斉メールを活用）
- 人事異動により、所属する自治体が変わるため、連絡先が毎年変更となる。
- 自治体ごとにセキュリティポリシーやメールシステムが異なり、大容量データの送付制限や到達不具合が発生する。
- その結果、個別確認や再送対応が必要となる、情報共有に時間を要するといった運用負荷が生じている

現場からの コメント



- 各自治体で付与されるメールアドレスを用いた利用可能な仕組み（既存アカウントでの利用）を希望します。
- 連絡内容に応じて、対象者を個別・グループ単位で柔軟に設定できる仕組みを希望します。
- 誰でも保守・管理・利用が簡易で、セキュリティの確保されたシステムを希望します。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

保健医療局 公衆衛生医師担当部門
(保健政策部保健政策課)

公衆衛生医師の採用、キャリアアップのサポート、業務支援などを行っています。